



## 報道発表

令和2年2月12日  
東京税関  
成田税関支署

### 令和元年（平成31年）の成田国際空港における不正薬物密輸入事犯の取締り状況

## 覚醒剤摘発件数・押収量 開港以来最高

令和元年（平成31年）中に摘発した不正薬物<sup>※1</sup>の密輸入事件は、摘発件数190件、押収量約437kg・約3万7千錠であった。

内訳は、覚醒剤144件/約393kg、大麻14件/約12kg、麻薬27件/約26kg・約3万7千錠、指定薬物5件/約7kgであった。

### ◎覚醒剤密輸事犯の動向

- ◆ 覚醒剤密輸入事件の摘発件数144件、押収量約393kgは、成田空港開港以来、過去最高。
- ◆ 航空機旅客からの1回の押収量としては、過去最高となる約30kgを摘発。
- ◆ 覚醒剤の仕出地は、タイ44件、メキシコ19件、マレーシア15件と、3地域からの密輸が半数を占め、タイからのタイ人による密輸が急増。
- ◆ 豆や飴といった食品に偽装するなど隠匿手口が巧妙化。

### ◎大麻密輸事犯の動向

- ◆ 摘発件数は、やや減少したが、前年の3倍超となる約12kgを押収。

### ◎麻薬密輸事犯の動向

- ◆ コカインは、摘発件数、押収量ともに約1.8倍増。
- ◆ MDMAは、10年ぶりに1万錠を超えた前年の約3.3倍を押収。

### ◎その他不正薬物の動向

- ◆ 指定薬物<sup>※2</sup>密輸事犯は、通称t-BOCメタンフェタミン<sup>※3</sup>と呼ばれる、覚醒剤転換可能薬物を大量押収（約7kg）。

### ◎その他の密輸の動向

- ◆ 令和元年7月、日本からラオスへワシントン条約該当動物の派生物（アフリカゾウの象牙等）多数を密輸出しようとした事犯を摘発。

※1 覚醒剤、大麻、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

※2 中枢神経系の興奮・抑制・幻覚の作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあるとして、厚生労働大臣が指定する薬物（医薬品医療機器等法第2条第15項）

※3 t-BOCメタンフェタミン（メチル（1-フェニルプロパン-2-イル）カルバミン酸1・1-ジメチルエチル）は、覚せい剤取締法上の覚醒剤や同原料に該当しないが、化学的処理によりメタンフェタミン（覚醒剤）に転換することが出来る薬物である。

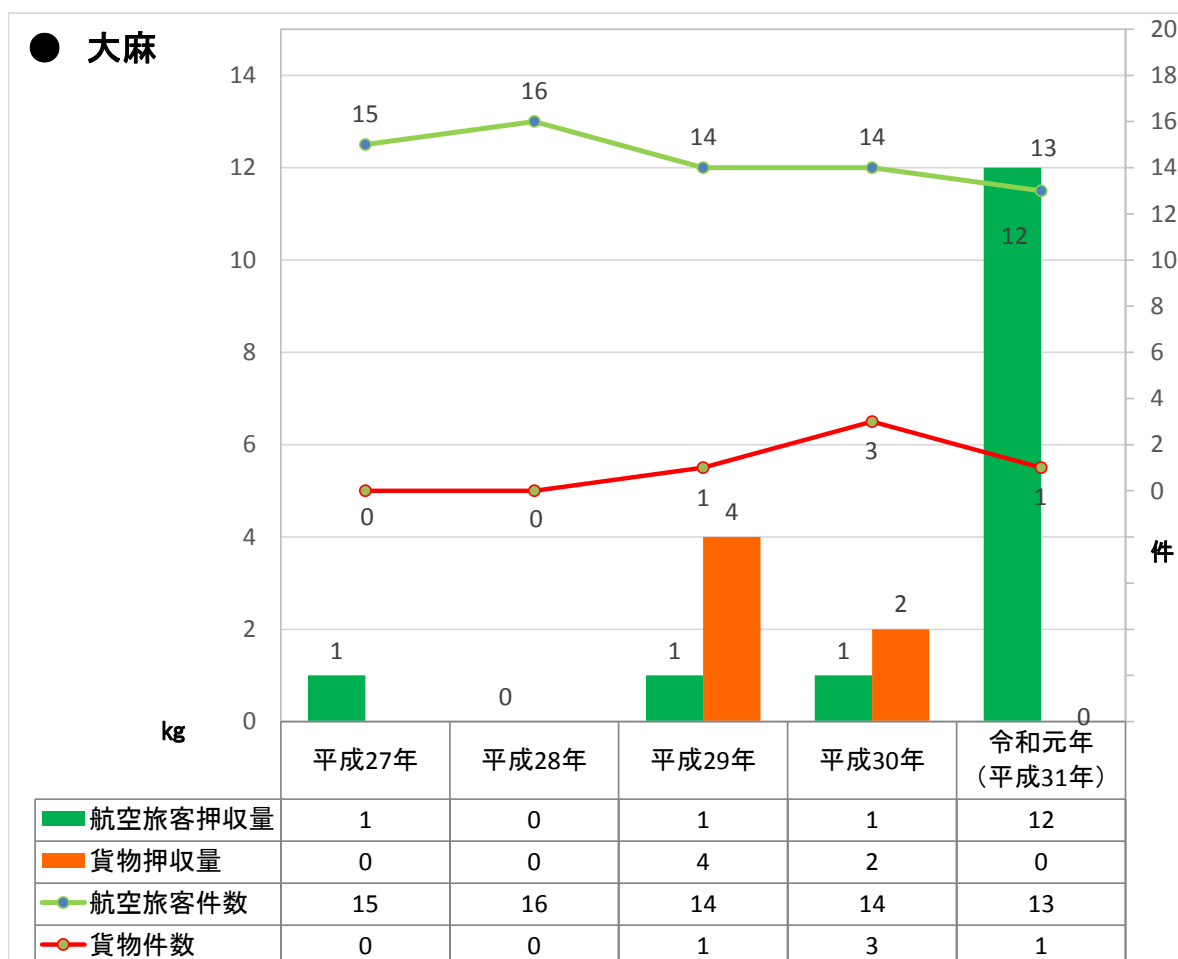
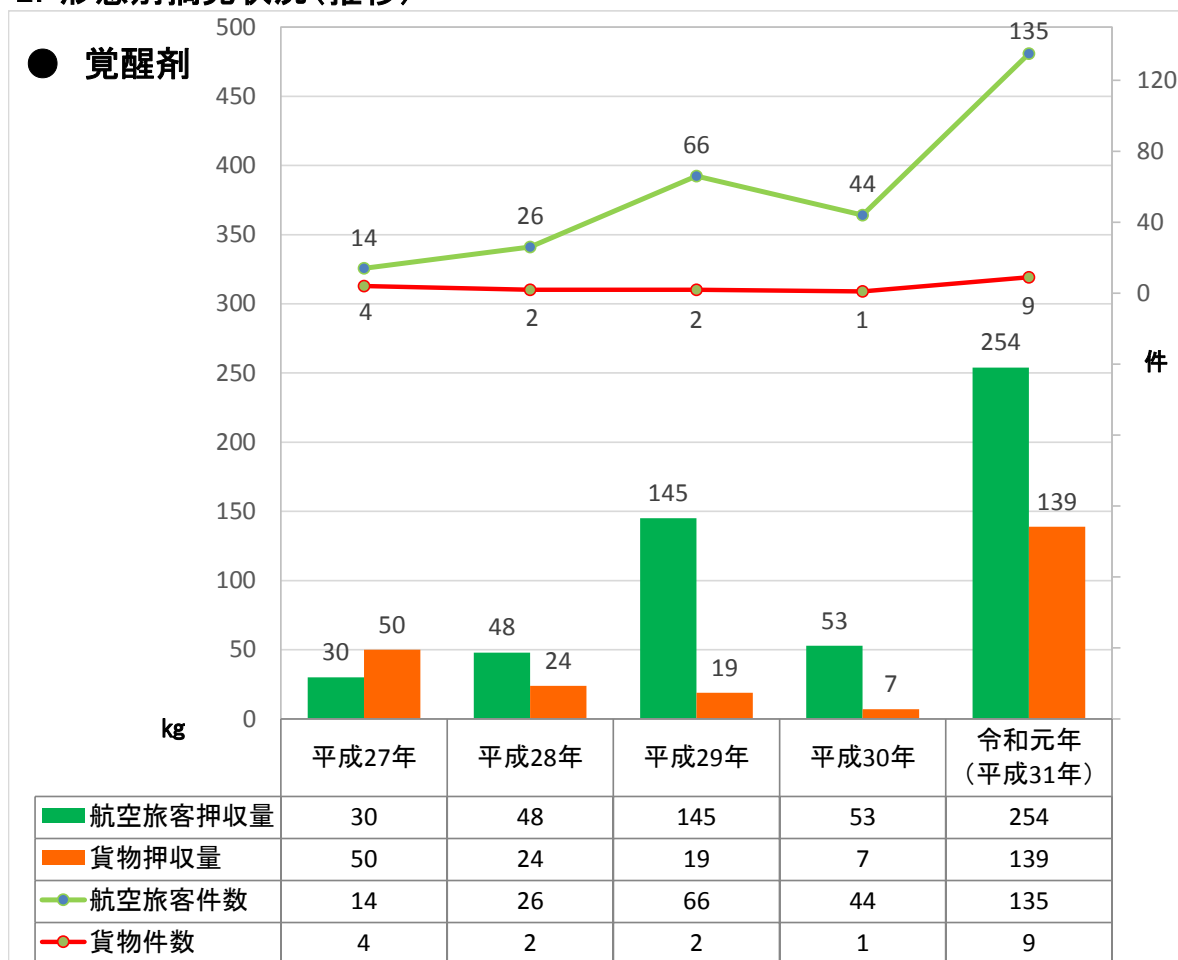
# 1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年(平成31年)	
						前年比	
覚 醒 剤	件 数	18	28	68	45	144	320.0%
	押収量(kg)	80	72	164	60	393	649.4%
	押収量(千錠)	-	-	0	0	-	全減
大 麻 (樹脂含む)	件 数	15	16	15	17	14	82.4%
	押収量(kg)	1	0	5	3	12	374.4%
あ へ ん	件 数	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
麻 薬	件 数	8	10	3	15	27	180.0%
	押収量(千点)	-	-	0	11	37	338.3%
	押収量(kg)	22	24	3	16	26	158.8%
ヘロイン	件 数	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	0	-	-	-	-	-
コカイン	件 数	1	3	1	8	15	187.5%
	押収量(kg)	18	24	3	14	26	182.8%
MDMA	件 数	0	0	1	3	6	200.0%
	押収量(千錠)	-	-	0	11	37	338.4%
	押収量(kg)	-	-	-	0	0	202.9%
その他麻薬	件 数	7	7	1	4	6	150.0%
	押収量(千点)	-	-	-	0	-	全減
	押収量(kg)	4	0	0	2	0	2.9%
向 精 神 薬	件 数	0	1	1	1	0	全減
	押収量(千錠)	-	0	-	3	-	全減
	押収量(kg)	0	-	0	-	-	-
指 定 薬 物	件 数		8	1	16	5	31.3%
	押収量(kg)		0	0	0	7	1917.0%
合 計	件 数	41	63	88	94	190	202.1%
	押収量(kg)	103	96	172	80	437	547.9%
	押収量(千点)	-	0	0	14	37	255.8%
銃 砲 類	件 数	0	1	1	0	0	-
	押収量(丁)	0	1	1	0	0	-
総 摘 発 件 数		41	64	89	94	190	202.1%

\* 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。

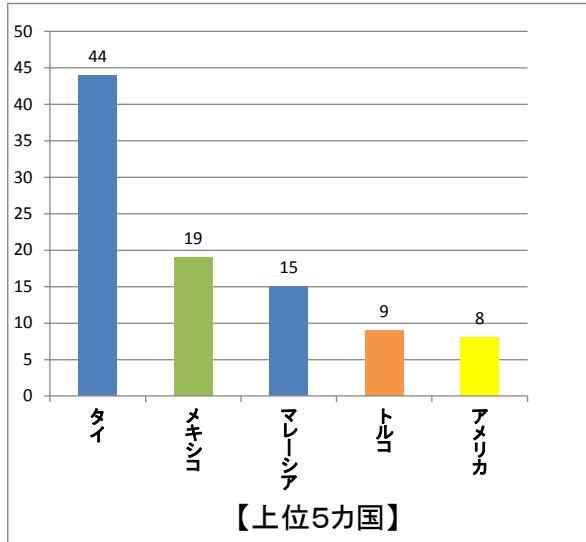
- 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。
- 大麻は、大麻草の他、大麻樹脂その他の大麻の製品等の合計を示す。
- MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。
- 重量は、小数点以下を四捨五入した。
- 令和元年の数値は速報値である。
- 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

## 2. 形態別摘発状況(推移)



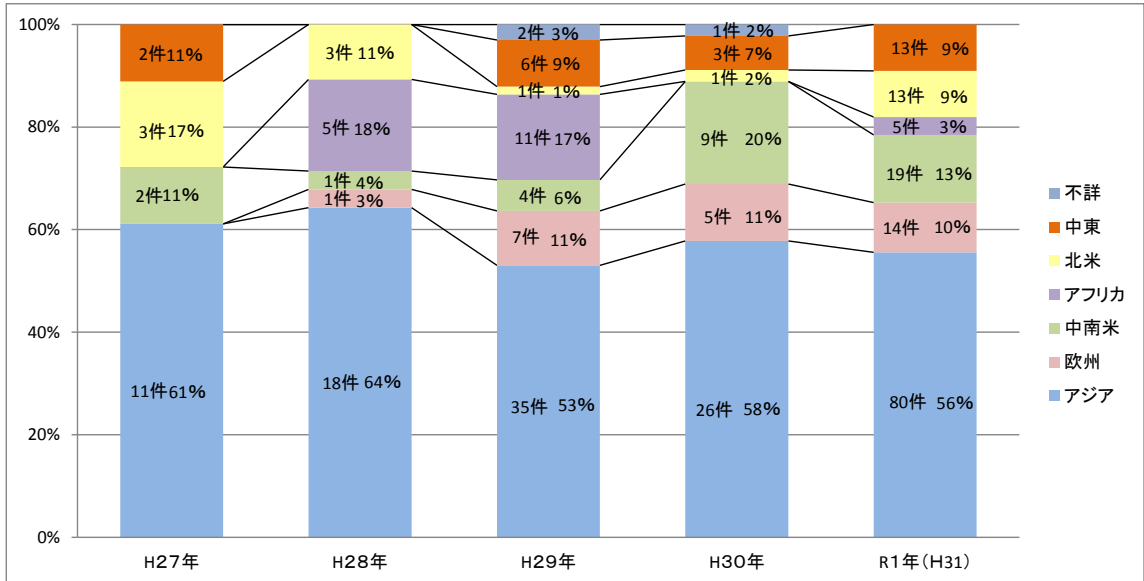
### 3. 覚醒剤の仕出別摘発状況

#### ●令和元年(平成31年)仕出地別摘発件数

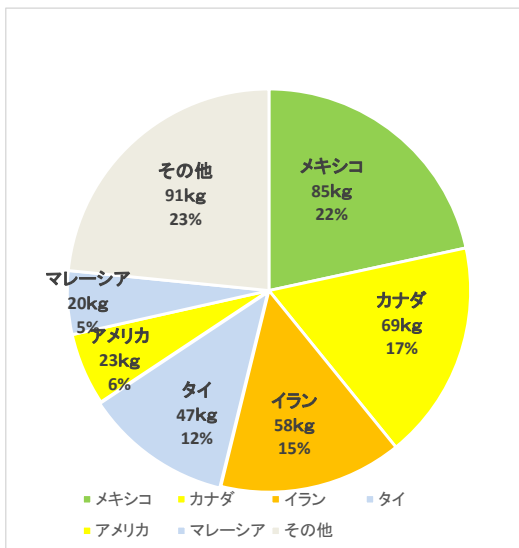


地域	国	件数
アジア (9か国・80件)	タイ	44
	マレーシア	15
	フィリピン	7
	インド	3
	ベトナム	2
	中国	2
	その他	7
中東 (3か国・13件)	トルコ	9
	アラブ首長国連邦	3
	イラン	1
北米 (2か国・13件)	カナダ	5
	アメリカ	8
欧州 (11か国・14件)	ドイツ	3
	イギリス	2
	その他	9
中南米	メキシコ	19
アフリカ (3か国・5件)	南アフリカ	3
	その他	2
合計		144件

#### ●仕出地域(推移)



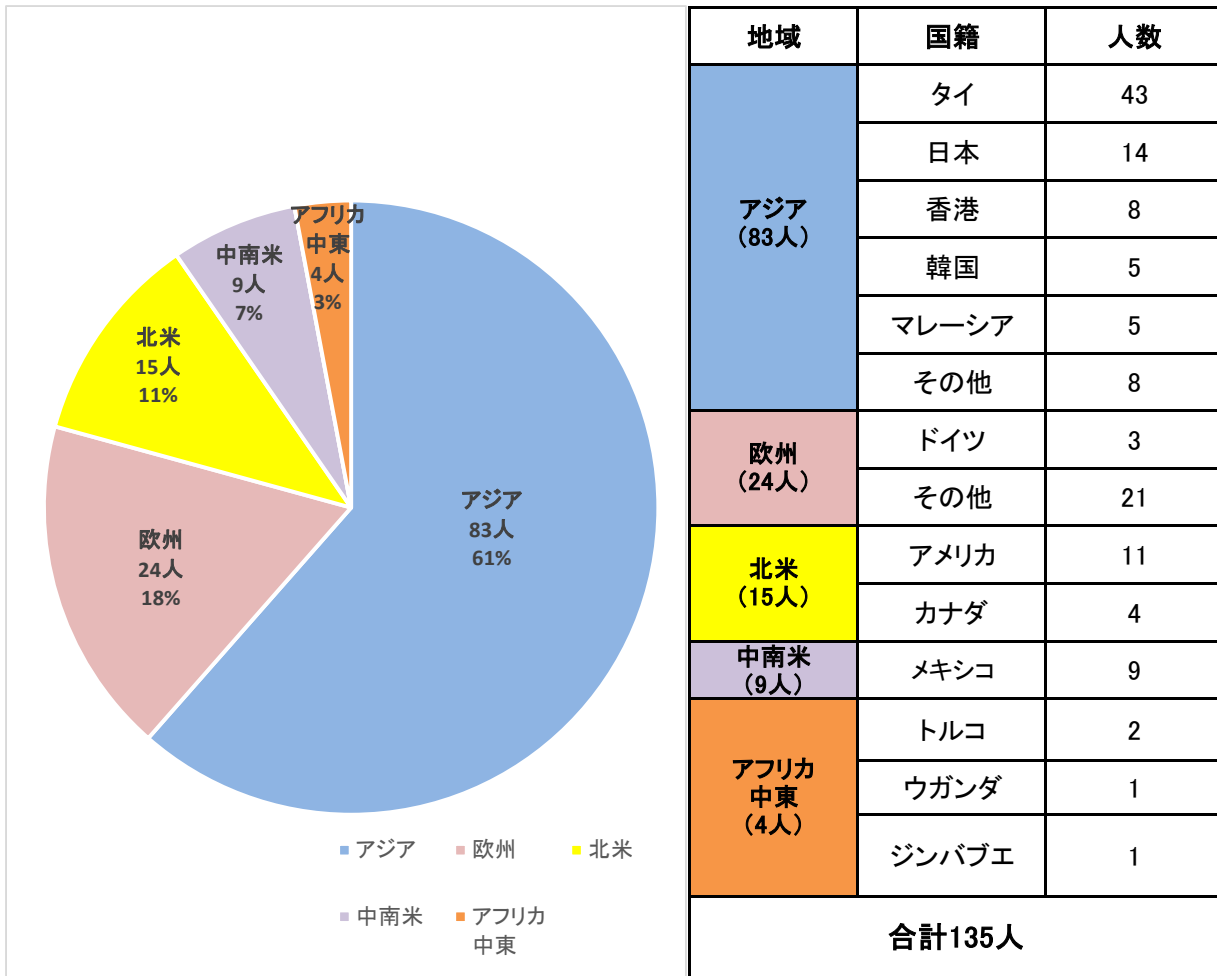
#### ●仕出国別押収重量



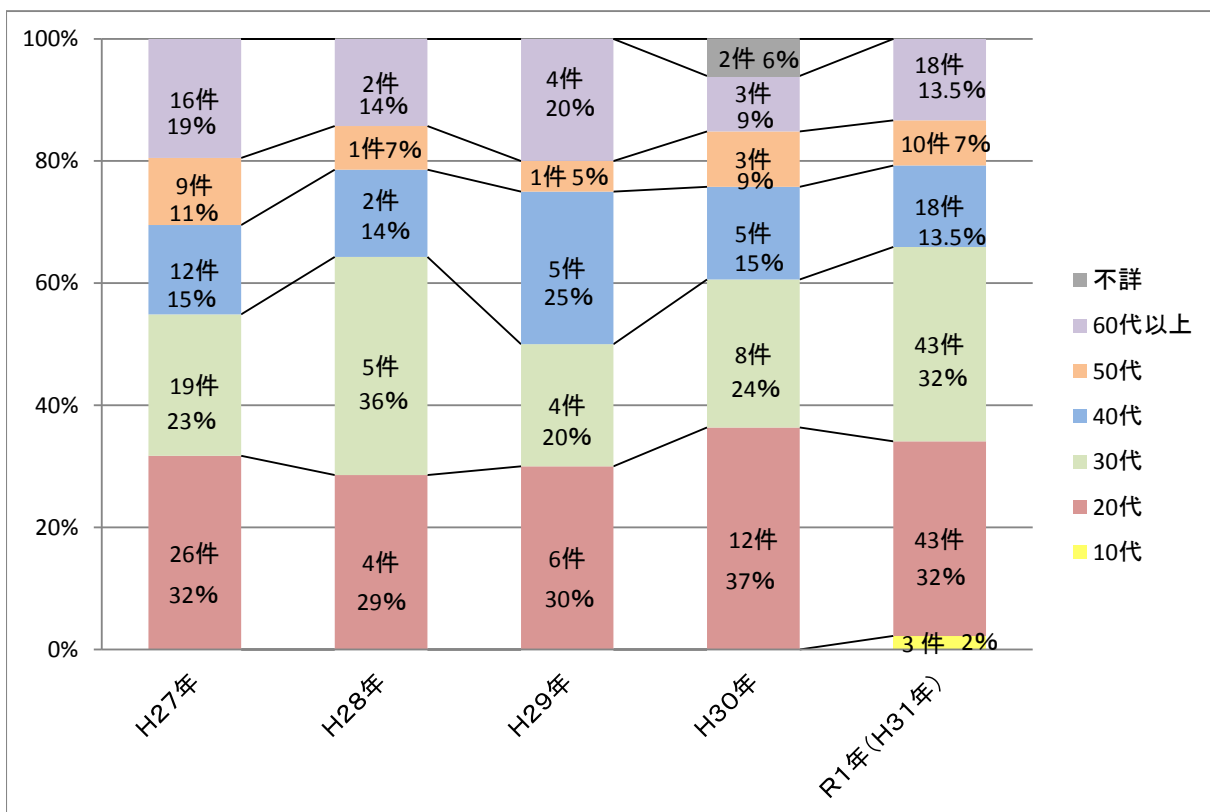
地域	件数	総重量
メキシコ	19件	85kg
カナダ	5件	69kg
イラン	1件	58kg
タイ	44件	47kg
アメリカ	8件	23kg
マレーシア	15件	20.0kg
その他	52件	91kg

## 4. 覚醒剤密輸実行犯内訳【旅客】

### ●国籍別摘発状況



### ●年代別摘発状況



## 5. 令和元年(平成31年)の密輸事犯の特徴

### ① タイ人による密輸入

#### ～ツアー参加によるショットガン方式による密輸入～

【令和元年6月】  
5名から約18キロの覚醒剤を発見。



#### ～様々な隠匿方法～

- 緑色紙製箱(アロマ製品)に隠匿。



- ビニールラップ等で包み体腔内に隠匿。



- スーツケース底部を工作して隠匿。



- 額縁に練り込ませて隠匿。



## ② 車椅子利用者による密輸入

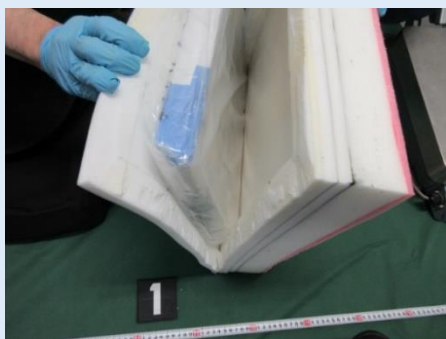
【令和元年6月】

ベルギー来男性旅客携行スーツケースから約1万錠のMDMAを発見。



【令和元年7月】

アメリカ来男性旅客の車椅子座シート内から約2キロの覚醒剤を発見。



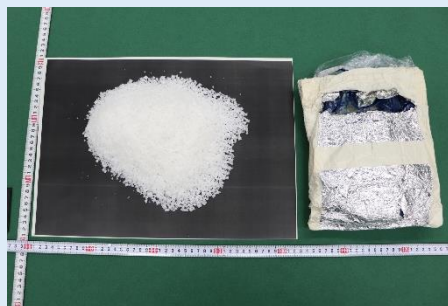
【令和元年10月】

メキシコ来女性旅客携行スーツケースから約1キロの覚醒剤を発見。



【令和元年10月】

カンボジア来女性旅客携行のリュックサック3点から約4キロの覚醒剤を発見。



### ③ 高齢者による密輸入

【平成31年1月】

メキシコ来男性旅客(69歳)携行のジャケット等に隠匿された約3.5kgのコカインを発見。



【平成31年3月】

ラオス来男性旅客(71歳)携行スーツケース底部に隠匿された約2kgの覚醒剤を発見。



【令和元年5月】

フランス来男性旅客(70歳)携行スーツケース底部に隠匿された約1万錠のMDMAを発見。



【令和元年9月】

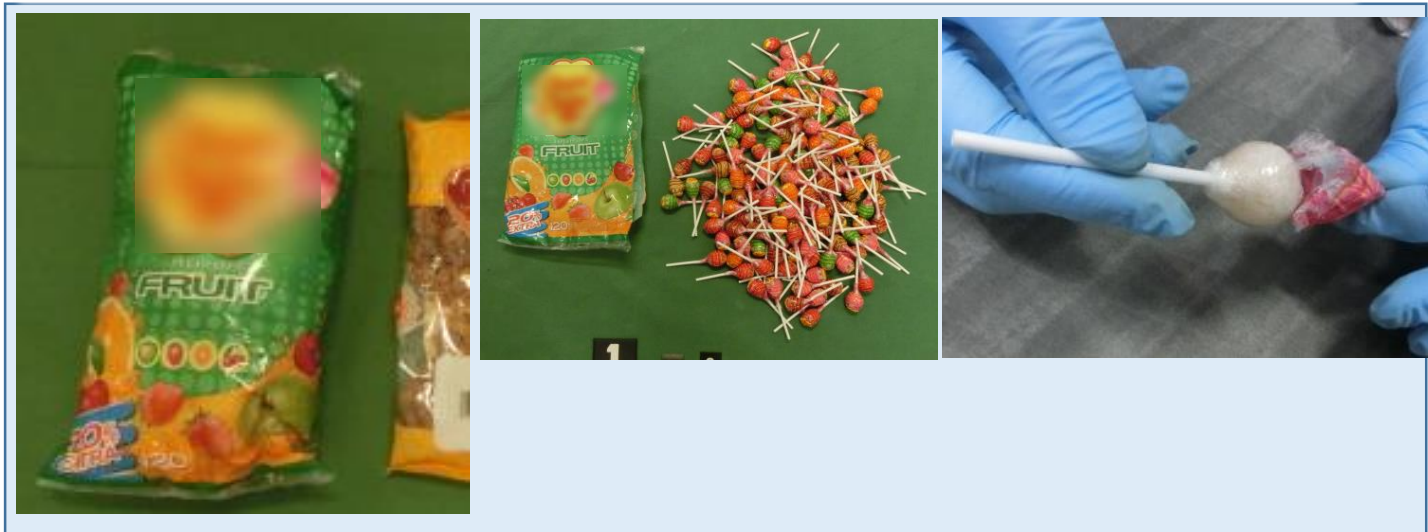
インド来男性旅客(63歳)携行の木製品4点に隠匿された約3kgの覚醒剤を発見。



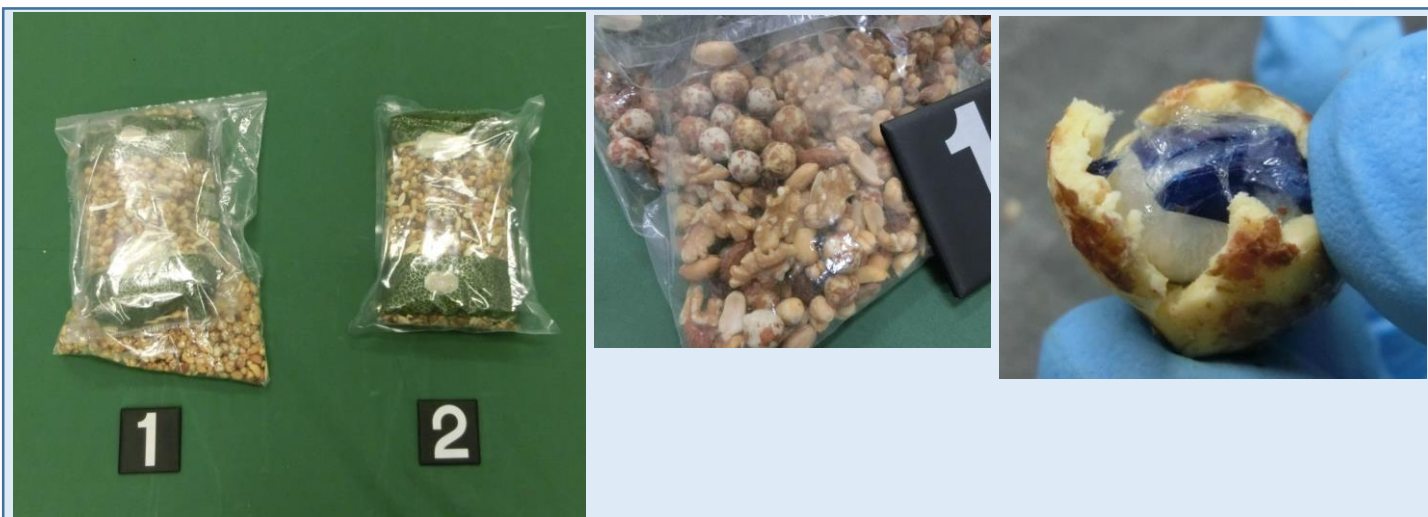


#### ④ 巧妙な隠匿手口による密輸入

【平成31年1月】イギリス来男性旅客携行スーツケースから棒付きキャンディーに偽装した、約1キロの覚醒剤を発見。



【平成31年2月】トルコ来男性旅客携行スーツケースからミックスナッツに偽装した、約1キロの覚醒剤を発見。



【令和元年5月】カナダ来航空貨物であるガスオーブン機内から約20kgの覚醒剤を発見。

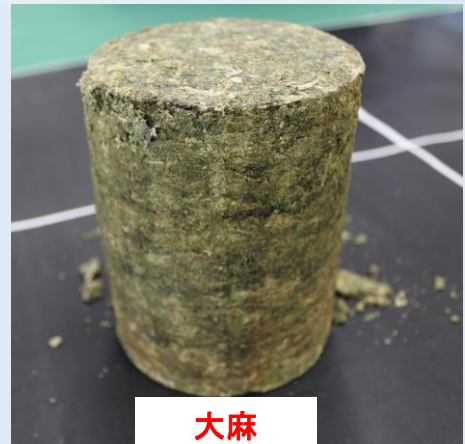


## ⑤ 不正薬物複数種類の密輸入

【平成31年1月】カナダ来男性旅客携行スーツケース内から食品缶詰に隠匿された覚醒剤約1キロ、大麻約3キロ発見。



覚醒剤



大麻

【平成31年2月】ロシア来男性旅客携行スーツケース内から食品缶詰に隠匿された覚醒剤約3キロ、コカイン約100グラム、MDMA約5千錠を発見。



覚醒剤



MDMA



コカイン

【令和元年5月】カナダ来女性旅客携行スーツケース内から食品缶詰に隠匿されたコカイン約500グラム、大麻約3キロを発見。



コカイン



大麻

## ⑥ 覚醒剤大量押収事犯

【平成31年2月】カナダ来男性旅客携行スーツケース2個内から約30kgの覚醒剤を発見。



【平成31年2月】カナダ来女性旅客携行スーツケース等から分散隠匿された約17kgの覚醒剤を発見。

